

# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 評価者版(2016年版、名古屋建築環境総合性能評価システムマニュアル2016) ■使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

| 1-1 建物概要 |                             | 1-2 外観 |                 |
|----------|-----------------------------|--------|-----------------|
| 建物名称     | (仮称)サムティ名古屋市中区新栄1丁目 新築工事    | 階数     | 地上15F           |
| 建設地      | 愛知県名古屋市中区新栄1丁目1703-1・1703-2 | 構造     | RC造             |
| 用途地域     | 商業地域、防火地域、準防火地域             | 平均居住人員 | 216 人           |
| 地域区分     | 6地域                         | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 集合住宅                        | 評価の段階  | 実施設計段階評価        |
| 竣工年      | 2023年7月 予定                  | 評価の実施日 | 2022年4月1日       |
| 敷地面積     | 570 m <sup>2</sup>          | 作成者    |                 |
| 建築面積     | 345 m <sup>2</sup>          | 確認日    | 2022年4月1日       |
| 延床面積     | 4,308 m <sup>2</sup>        | 確認者    |                 |

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

| 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)  | 2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)   | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート) |
|--|--|----------------------|
| <p><b>= BEE 0.8</b> ★★☆☆☆</p> <p>★:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C:★☆☆☆☆</p> | <p>★☆☆☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆☆ 80%:☆☆☆☆☆ 60%:30%</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p> |                      |

| 2-4 中項目の評価(バーチャート)                            |   |  |
|---|---|--|
| <p><b>Q 環境品質</b> <b>Q のスコア = 2.5</b></p>      |   |  |
| <p><b>Q1 室内環境</b> <b>Q1のスコア = 2.9</b></p>     | <p><b>Q2 サービス性能</b> <b>Q2のスコア = 2.6</b></p>     | <p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> <b>Q3のスコア = 2.1</b></p> |
| <p><b>LR 環境負荷低減性</b> <b>LR のスコア = 3.0</b></p> |   |  |
| <p><b>LR1 エネルギー</b> <b>LR1のスコア = 3.5</b></p>  | <p><b>LR2 資源・マテリアル</b> <b>LR2のスコア = 2.7</b></p> | <p><b>LR3 敷地外環境</b> <b>LR3のスコア = 2.6</b></p>   |

| 3 設計上の配慮事項  |   |  |
|---|---|--|
| <p><b>総合</b><br/>計画敷地は、商業地域500%の地域で大通に面してはいますが、近隣に圧迫感のない様に計画した。</p> | <p><b>その他</b><br/>特になし。</p>                   |  |
| <p><b>Q1 室内環境</b><br/>室内仕上げ材は、全てF4とした。</p>                          | <p><b>Q2 サービス性能</b><br/>分別可能なゴミ置場を設置致します。</p> | <p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b><br/>特になし。</p>                                   |
| <p><b>LR1 エネルギー</b><br/>特になし。</p>                                   | <p><b>LR2 資源・マテリアル</b><br/>特になし。</p>          | <p><b>LR3 敷地外環境</b><br/>敷地内に附置義務台数を確保する事で、周辺道路に路上駐車等発生しないよう配慮しました。</p> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

### 重点項目スコア・結果シート

(仮称)サムティ名古屋市中区新栄1丁目 新築工事

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2
- 評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

| 重点項目     |                 | 評価  | 全体に対する<br>重み係数 | 重点項目<br>スコア |
|----------|-----------------|-----|----------------|-------------|
| 1. 温暖化対策 |                 |     |                | 3.2         |
| LR1      | エネルギー           | 3.5 | 0.4            |             |
| LR3.1    | 地球温暖化への配慮       | 2.9 | 0.1            |             |
| LR3.2.2  | 温熱環境悪化の改善       | 1.0 | 0.05           |             |
| 2. 自然共生  |                 |     |                | 1.3         |
| Q3.1     | 生物環境の保全と創出      | 1.0 | 0.09           |             |
| Q3.3.1   | 地域性への配慮、快適性の向上  | 無   | 0.009          |             |
| Q3.2     | まちなみ・景観への配慮     |     |                |             |
| Q3.3.2   | 敷地内温熱環境の向上      | 2.0 | 0.045          |             |
| 3. 循環型社会 |                 |     |                | 2.9         |
| LR2.1    | 水資源保護           | 3.0 | 0.06           |             |
| LR2.2    | 非再生性資源の使用量削減    | 2.8 | 0.18           |             |
| LR3.2.3  | 地域インフラへの負荷抑制 ※2 | 3.0 | 0.01875        |             |

### 結果

|          |           |
|----------|-----------|
| 1. 温暖化対策 | 評価点 = 3.2 |
|          |           |
| 2. 自然共生  | 評価点 = 1.3 |
|          |           |
| 3. 循環型社会 | 評価点 = 2.9 |
|          |           |

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。